

問1	乾燥帯のうち、わずかな降水によって丈の短い草原が広がる地域で見られる気候を何といいますか。この地域では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる移動式住居を用いた遊牧が行われているのが特徴です。 （2018年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 地中海性気候	2. ステップ気候	3. 砂漠気候	4. サバナ気候
問2	降水量が非常に少なく森林がほとんど見られない乾燥帯の地域において、古くから伝統的な住居の材料として利用されてきた、土を成形して焼かずに乾かした資材を何と呼びますか。 （2021年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 日干しレンガ	2. コンクリートブロック	3. 大理石	4. 合板
問3	ある地域の気候を分析した資料において、年間の降水量が700ミリメートルを超え、季節による気温の変化が明確であるという特徴が確認されました。この地域の気候を、乾燥帯と比較した際の説明として最も適切なものはどれですか。 （2025年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 夏に気温が上がらず、冬の寒さが非常に厳しいため地面が凍結している	2. 降水量が蒸発量よりも多く、農業や樹木の生育に適した湿潤な環境である	3. 降水量が非常に少なく、年間を通じて蒸発量の方が多いため樹木が育たない	4. 一年を通じて気温が高く、降水量は多いものの季節による気温差がほとんどない
問4	南北アメリカ州の主要国であるアメリカ合衆国とブラジルは、ともにヨーロッパ諸国との歴史的なつながりからキリスト教を主に信仰していますが、伝統的な食文化には違いが見られます。宗教はキリスト教が主流であり、かつ伝統的な食文化において米を主食として取り入れている国として、最も適切な国を選びなさい。 （2024年 福井県公立入試 類似）			
	1. ブラジル	2. カナダ	3. アルゼンチン	4. アメリカ合衆国
問5	ある都市の気候について、年平均気温が約12度と低く、月ごとの気温の変化（年較差）が極めて小さいという特徴があります。また、降水量は12月から3月にかけての時期に多く、それ以外の時期は少ないという統計が示されている場合、この都市の名称と気候区の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2019年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. クスコ — 高山気候	2. ブエノスアイレス — 温暖湿潤気候	3. マナオス — 熱帯雨林気候	4. 東京 — 温暖湿潤気候
問6	ブラジルのアマゾン川流域などで見られる、森林や草原を焼き払い、その後に残った灰を肥料として利用する伝統的な農業を何といいますか。この農業は、数年間の栽培で土地がやせると、別の場所へ移動して再び同じ工程を繰り返すという特徴があります。 （2020年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 焼畑農業	2. オアシス農業	3. プランテーション農業	4. 企業的な穀物農業
問7	アフリカ大陸の多くの国々では、ヨーロッパ諸国から地理的に遠く離れているにもかかわらず、フランス語や英語が公用語として広く使われています。このように、かつての支配国と独立後の国との間で言語が共通している理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 先進国からの直接投資を円滑に受け入れるために、経済的な結びつきが強い国の言語を後から導入したため	2. 特定の宗教が伝播する過程で、その教典に記された言語が日常生活に浸透し、そのまま公用語となったため	3. かつて植民地として支配を受けていた宗主国の言語が、独立後も行政や教育の場で維持されたという歴史的背景があるため	4. 独立後の平和条約において、国際連合の公用語の中から自国の言語を選択することが義務付けられたため
問8	モンゴルの草原で見られる伝統的な住居「ゲル」は、その土地の自然環境や人々の生活スタイルと密接に関わっています。ゲルが円形の組み立て式であり、持ち運びが容易な構造になっている最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 家畜の餌となる草を求めて、時期によって住む場所を変える必要があるから	2. 砂漠化の影響で風が強いいため、角のない形状にして風の抵抗を抑える必要があるから	3. 森林資源が乏しいため、限られた木材で空間を広く確保しようとしたから	4. 夏の極端な高温から身を守るために、風通しの良いテント状の布が必要だから
問9	エジプトの首都カイロの統計資料において、年間の降水量がどの月も極めて少なく、月平均気温が冬の約15度から夏の約30度の間で変化する特徴が見られるとき、この地域の気候帯および気候区分として適切なものはどれですか。 （2017年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 熱帯の熱帯雨林気候	2. 温帯の地中海性気候	3. 乾燥帯の砂漠気候	4. 乾燥帯のステップ気候
問10	ロシアのシベリア地方などの寒冷な地域では、建物内の暖房の熱が地盤に伝わって永久凍土が溶けるのを防ぐための工夫がなされています。一方、パプアニューギニアなどの熱帯地域では、通風を良くし、地面からの湿気や害虫を避けるための工夫がなされています。これらの異なる気候帯において、共通して見られる「床を地面から離して高くする」建築様式を何といいますか。 （2018年 三重県公立入試 類似）			
	1. 高床住居	2. 石造りの住居	3. ゲル（移動式住居）	4. レンガ造りの住居
問11	ある都市の気候統計では、7月の平均気温が最も低く、1月の平均気温が20度を超えて最も高くなっています。また、降水量は極端に少なくはなく、年間を通じて一定の変動が見られます。この都市の気候区分とその理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2022年 山形県公立入試 類似）			
	1. 南半球の温帯に属する。7月に気温が低いいため南半球であり、気温の変動と降水量から温帯と判断できる。	2. 北半球の温帯に属する。四季の変化がはっきりしており、1月に気温が高くなるのは北半球の夏にあたるからである。	3. 低緯度の熱帯に属する。1年を通じて気温が高く、降水量が多いため、気温の折れ線がV字型になることはない。	4. 南半球の乾燥帯に属する。7月に気温が低くなるのは南半球の特徴だが、温帯に比べて降水量が極端に少ない。
問12	ロシアのヤクーツクなどの寒冷地で見られる集合住宅は、建物の床下を地面から離れた「高床式」の構造になっています。このように建築する理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2021年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 冬場の激しい積雪によって、一階部分の出入り口や窓がふさがれるのを防ぐため	2. 地面からの湿気が建物内にこもるのを防ぎ、建材である木材の腐食を抑えるため	3. 暖房などの建物の熱が地面に伝わって永久凍土が溶け、地盤が沈下するのを防ぐため	4. 夏場の激しい降雨によって発生する大規模な洪水から、住居が浸水するのを防ぐため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ステップ気候	乾燥帯は降水量の違いによって大きく2つに分けられます。雨が極端に少なく植物がほとんど育たない「砂漠気候」に対し、少しの雨が降ることですぐに草の生える草原（ステップ）が広がるのがステップ気候です。中央アジアのモンゴルなどでは、この広大な草原を利用して羊や馬などを飼育する遊牧が伝統的に行われてきました。
問2	答え 1 日干しレンガ	乾燥帯では樹木が育ちにくく、建築に用いるための木材を確保することが困難です。そのため、身近にある泥や土を型に入れ、強い日差しで乾燥させて固めた資材が古くから利用されてきました。これを用いて厚い壁を作ること、外の熱気が室内に伝わるのを防ぐ工夫がなされています。
問3	答え 2 降水量が蒸発量よりも多く、農業や樹木の生育に適した湿潤な環境である	温帯と乾燥帯の大きな違いは、降水量と蒸発量のバランスにあります。降水量が700ミリメートルを超えている場合、一般に蒸発量を上回る水分が供給されるため、森林が形成され、農業を行うのに十分な湿潤環境が保たれます。乾燥帯では逆に降水量が蒸発量を下回るため、樹木が育ちにくい環境となります。
問4	答え 1 ブラジル	ブラジルはかつてポルトガルの植民地であった歴史的背景から、キリスト教（主にカトリック）が深く根付いています。また、南米の国々の中でも、伝統的に豆料理とともに米を主食として食べる文化が定着しているのが特徴です。一方、アメリカ合衆国もキリスト教徒が非常に多い国ですが、伝統的な主食は小麦（パンなど）が中心であるため、米を主食とする文化的な枠組みではブラジルが選ばれます。
問5	答え 1 クスコ — 高山気候	月ごとの気温変化が少ないことは低緯度（赤道に近い）であることを示し、その上で平均気温が低いことは標高が高いことを示しています。クスコはアンデス山脈に位置する高山気候の都市であり、低緯度の特徴である「気温の安定」と、高標高の特徴である「低温」の両方を備えています。一方、マナオスは同じ低緯度でも標高が低いため高温多雨であり、ブエノスアイレスや東京は温帯で季節による気温の変化が大きくなります。
問6	答え 1 焼畑農業	熱帯の土壌はもともと養分が少ないため、樹木を焼いた後に残る灰を貴重な肥料として利用します。数年間の栽培を続けると土壌の栄養分（地力）が使い果たされてしまうため、周辺の森林の自然回復を待ちつつ、別の場所へ移動して耕作を繰り返す循環的な仕組みになっています。
問7	答え 3 かつて植民地として支配を受けていた宗主国の言語が、独立後も行政や教育の場で維持されたという歴史的背景があるため	アフリカや南アメリカなどの国々でヨーロッパの言語が公用語となっているのは、19世紀から20世紀にかけて行われた植民地支配が主な要因です。支配国（宗主国）は自国の言語を統治や教育の手段として導入しました。独立後も、国内に多様な民族と言語が存在する場合、特定の民族語を公用語にすると対立が生じる恐れがあるため、共通の行政用語として旧宗主国の言語が引き続き採用されるケースが多く見られます。
問8	答え 1 家畜の餌となる草を求めて、時期によって住む場所を変える必要があるから	乾燥した草原地帯では、同じ場所に留まり続けると家畜が周囲の草を食べ尽くしてしまいます。そのため、遊牧民は常に新鮮な牧草地を求めて移動し続けなければなりません。このような「遊牧」という生活様式において、簡単に解体して次の場所へ運べるゲルのような移動式住居は、生存に不可欠な知恵として受け継がれてきました。
問9	答え 3 乾燥帯の砂漠気候	アフリカ北部に位置するカイロは、年間を通じて降水量がほとんどなく、蒸発量が降水量を上回る乾燥帯に属しています。その中でも、特に降水量が極端に少なく植物の生育が困難な地域は砂漠気候に分類されます。地中海性気候と混同されやすいですが、地中海性気候は「冬にある程度の雨が降る」という特徴があるため、年間を通して降水量が0に近いカイロのデータとは異なります。
問10	答え 1 高床住居	ロシアなどの寒冷地では、建物の熱で地中の永久凍土が溶けると地盤が緩んで建物が沈み込んでしまうため、床を高くして熱を逃がす構造がとられます。一方で熱帯地域では、厳しい暑さへの対策として通風を確保し、地面からの湿気が室内にこもるのを防ぐ目的で同じ構造が用いられます。このように、異なる目的であっても同じような建築の工夫が見られるのが特徴です。
問11	答え 1 南半球の温帯に属する。7月に気温が低いため南半球であり、気温の変動と降水量から温帯と判断できる。	7月に気温が下がるのは、北半球が夏の時期に冬を迎える南半球特有の現象です。また、熱帯のように年中高温ではなく、乾燥帯のように降水量が極端に少ないという条件から、この地域は南半球の温帯に該当すると判断できます。
問12	答え 3 暖房などの建物の熱が地面に伝わって永久凍土が溶け、地盤が沈下するのを防ぐため	シベリアなどの寒冷地では、地下に一年中凍ったままの「永久凍土」が広がっています。暖房の効いた建物が直接地面に接していると、その熱によって永久凍土が溶け、地盤が緩んで建物が傾いたり沈んだりする恐れがあります。そのため、床下に隙間を作って外気（冷たい空気）を通し、建物の熱が直接地面に伝わらないように工夫されています。東南アジアなどの低地で見られる高床式住居は主に湿気や洪水対策ですが、寒冷地では地盤の安定が目的であるという違いを理解しておくことが重要です。